

バイオマス資源を活かした 地域経済活性化・まちづくり



うすきエネルギー株式会社
取締役 小川 拓哉

- ・社 名 うすきエネルギー株式会社
- ・設 立 2016年(平成28年)10月31日
- ・資 本 金 1000万円 (株式会社クールトラスト 45%、地元企業3社ほか55%)
- ・代表取締役 小出 浩平
- ・所 在 地 大分県臼杵市佐志生5154番地の1 旧豊洋中学校
TEL/FAX (0972) 77-5484
- ・事業内容 電気の売買事業およびその仲介
【経済産業省登録小売電気事業者A0389】
発電所の建設、発電事業およびその仲介
- ・主要取引先 市内公共施設、醸造、造船、福祉施設等



※うすきエネルギー株式会社 ロゴマーク
エネルギーのイメージとして伝わりやすい電球を中心、円の中に葉っぱ、さらに臼杵市の名産である「ふぐ」、「大豆」、「かぼす」、お酒や味噌・醤油づくりが盛んということで「麦」や「大豆」をちりばめて臼杵らしさをだしました。

本日の流れ

臼杵市におけるバイオマス産業都市構想の取り組み

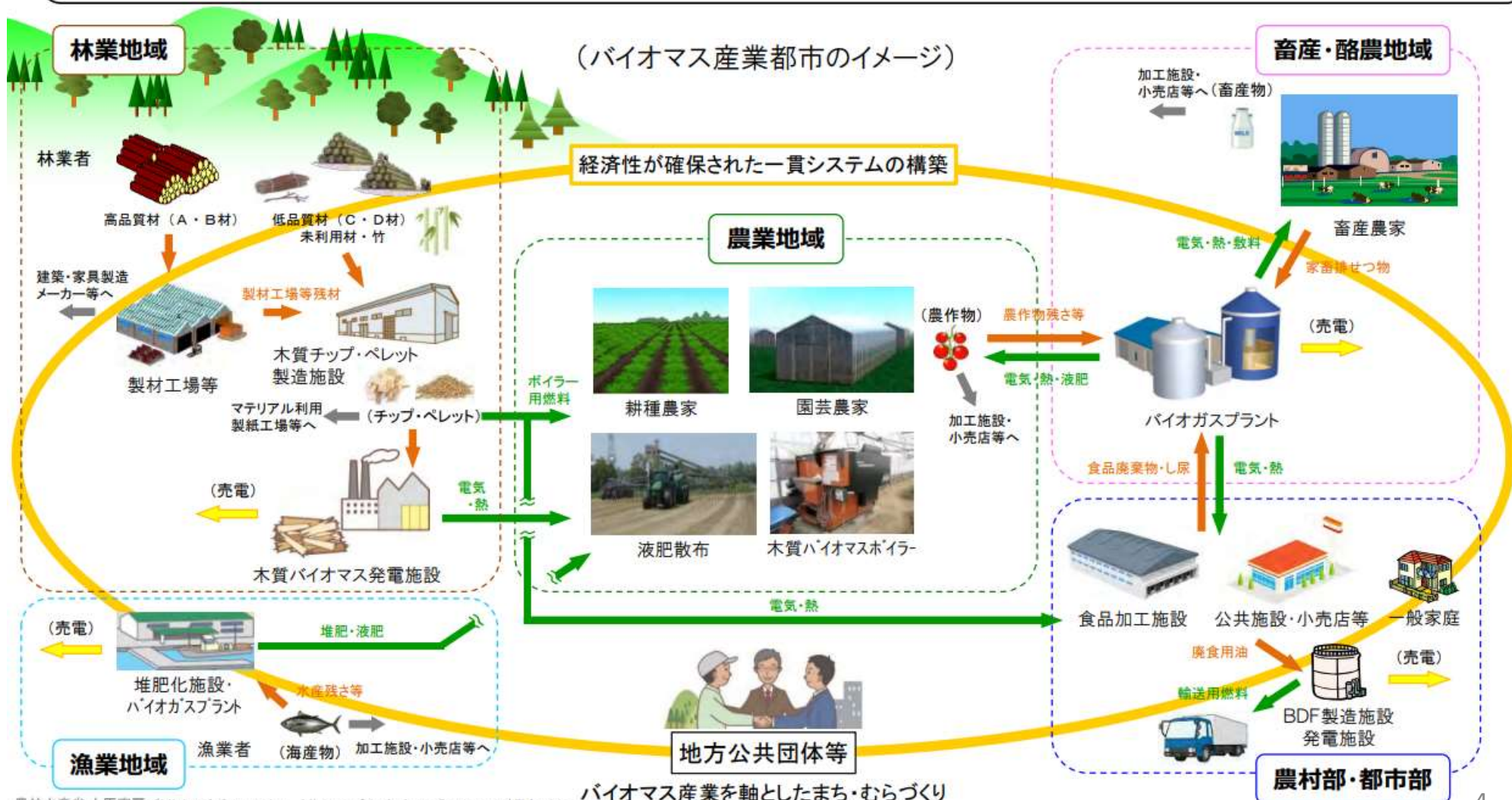
木質バイオマス発電事業について

うすきエネルギーの取り組み

バイオマス産業都市構想とは？

○ バイオマス産業都市とは、経済性が確保された一貫システムを構築し、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまち・むらづくりを目指す地域であり、関係7府省が共同で選定。

※関係7府省：内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省



バイオマス産業都市構想を目指す背景

平成22・23年 深刻な水不足が臼杵市内で発生

平成24年 市議会「水資源確保に向けた事業展開に関する提言」

⇒ 議会・行政・地域が連携し水源涵養機能の維持増進

「100年先を見据えた水源涵養の森林づくり」

⇒ 「健全で豊かな森林づくり」

平成26年 「水源涵養の森林づくりの協力に関する共同宣言」

平成27年 「バイオマス産業都市」認定

臼杵市がめざすべき姿

地域
特性

豊かな自然（山・川・森・川・海）

農林水産業・醸造業

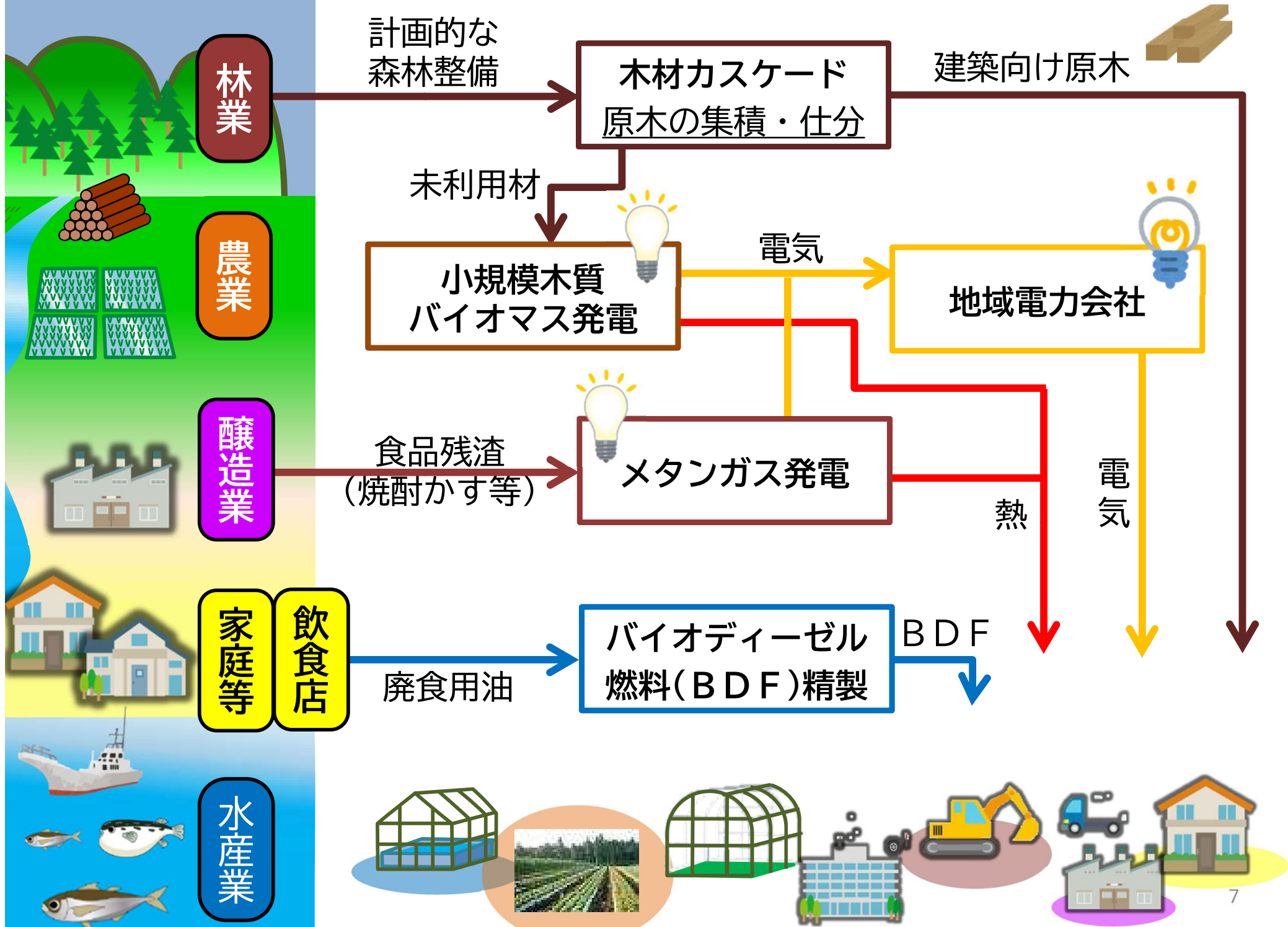
取組

資源の循環・エネルギーの地産地消

得
る
物

資源循環の仕組みづくり
雇用の創出
ほんまもの食材のブランド化

環境にやさしい・災害に強い・経済的に自立



木質バイオマス発電

運営

- ・ワタミエナジー株式会社 保有
- ・うすきエネルギー株式会社が管理（委託）

成り立ち



臼杵市内での地域循環を目指して、ワタミグループが自社で投資。

臼杵市は土地の提供（豊洋中学校のグラウンド）、熱利用の実証実験などで協力

木質バイオマス発電 検討の経緯

検討状況

2015年 環境省FS

有機廃棄物の資源化、木質バイオマスの利活用に関する基礎調査
バイオマス産業都市構想のベース

2016年 バイオマス産業都市構想策定

2017年 環境省FS（臼杵市）

木質バイオマスの資源量調査、導入技術に関するFS調査

2018年 NEDO FS

建築チップ廃材を活用したボイラーの可能性、燃料チップの効率的な生産体制の構築の可能性



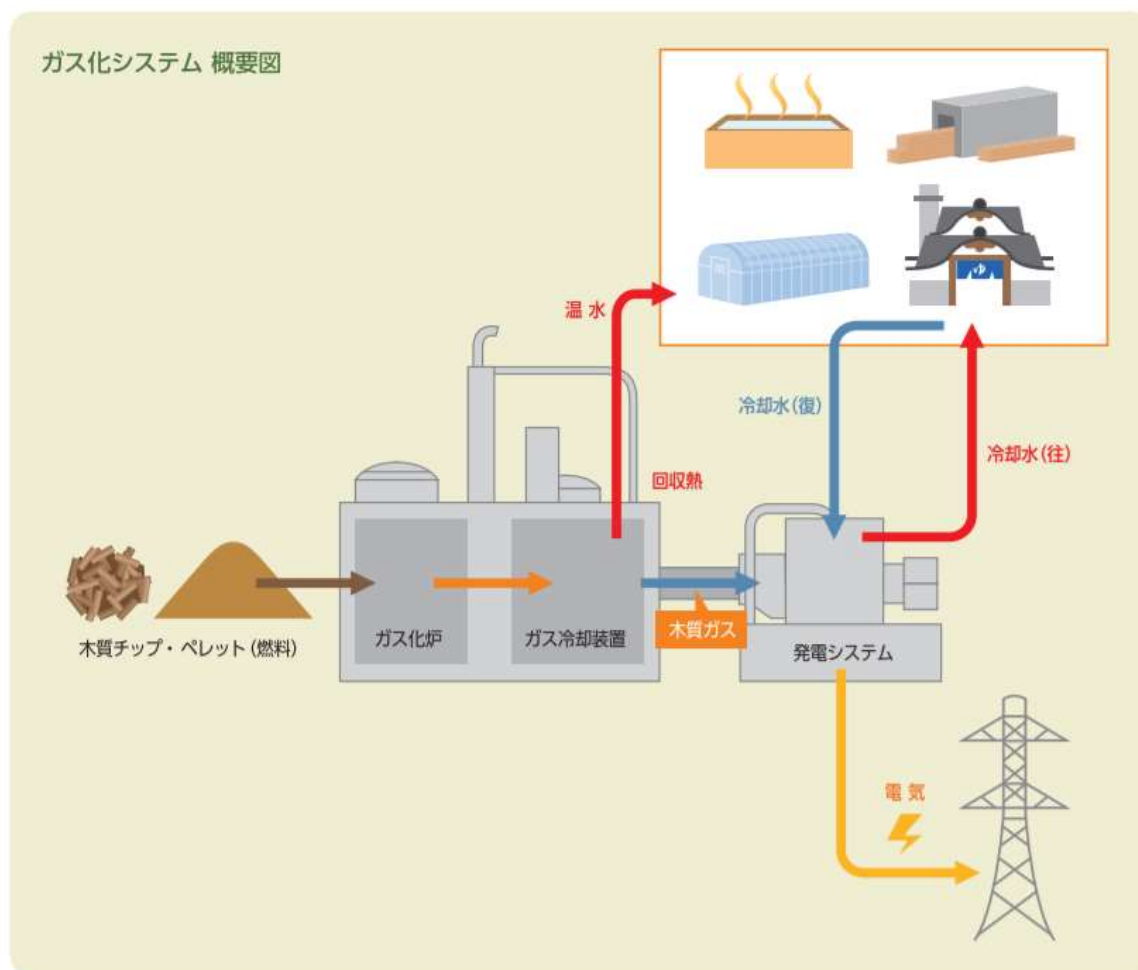
林業事業もワタミエナジーとして実施していた
最盛期 作業員5名、素材生産量1万m³

木質バイオマス発電



木質ガス化発電の仕組み

小型の発電規模でも発電効率が22～30%と高く、欧州では導入実績も豊富な木質バイオマスの発電方法として「ガス化システム」がある。



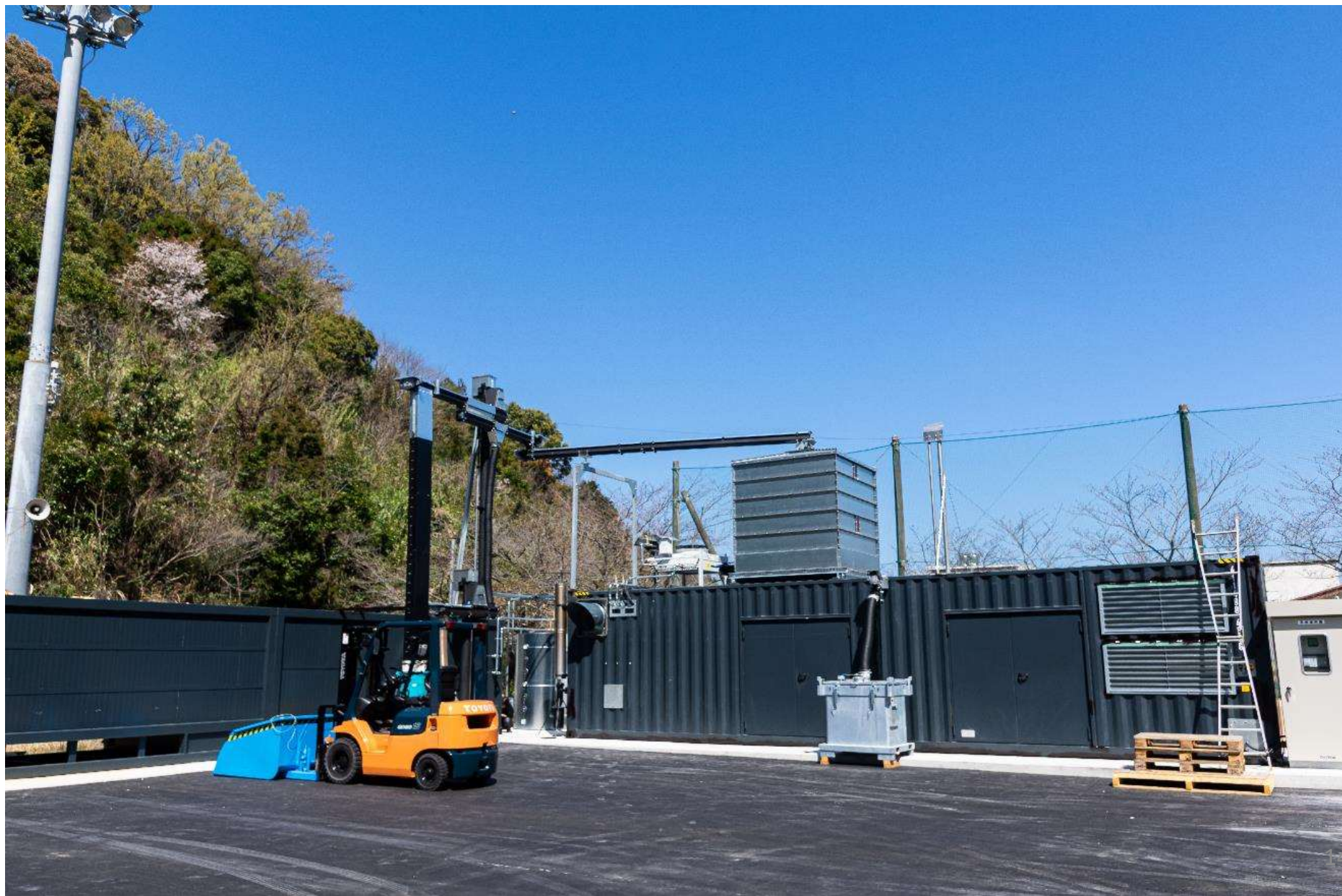
木質バイオマス発電



木質バイオマス発電



木質バイオマス発電



木質バイオマス発電

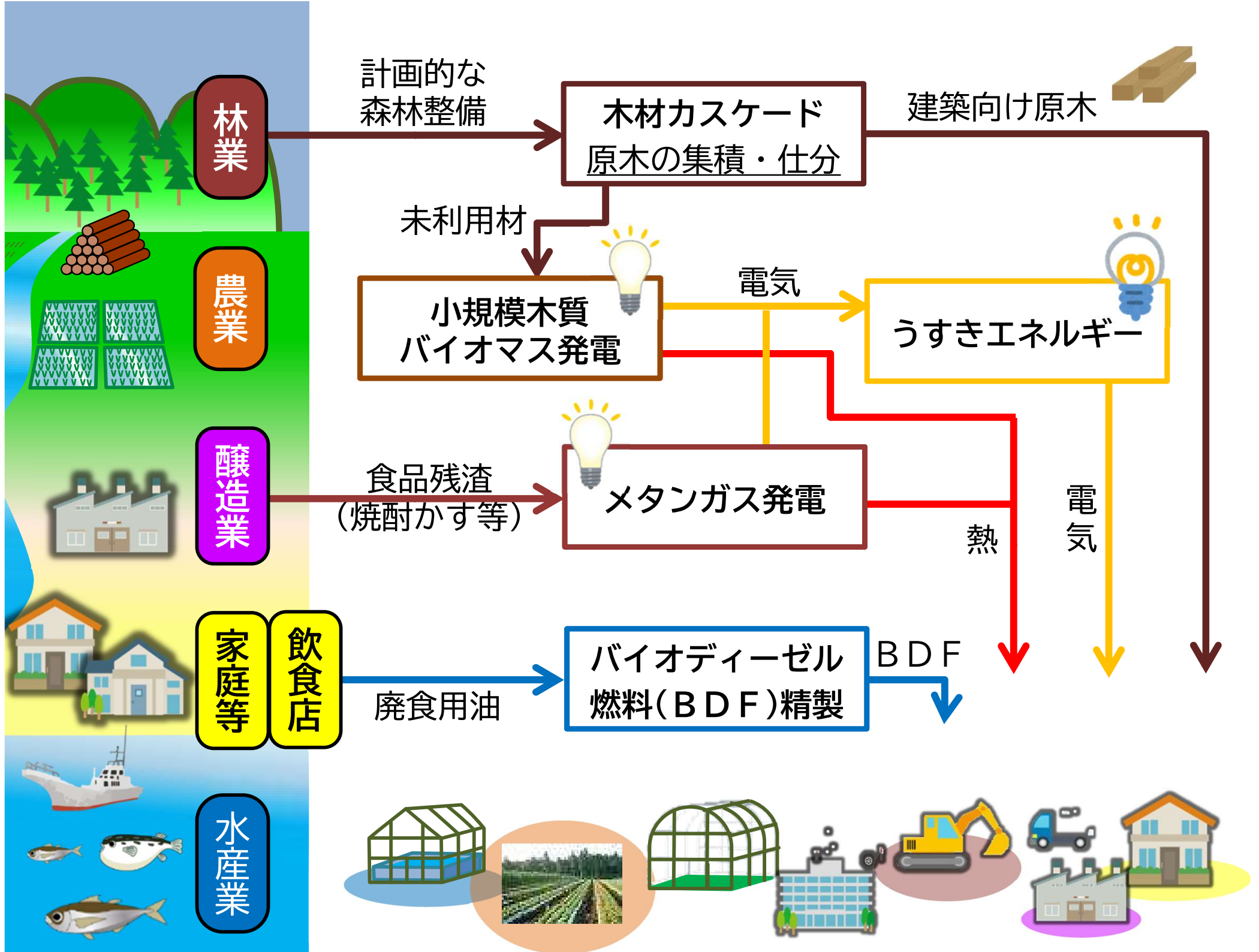


木質バイオマス発電

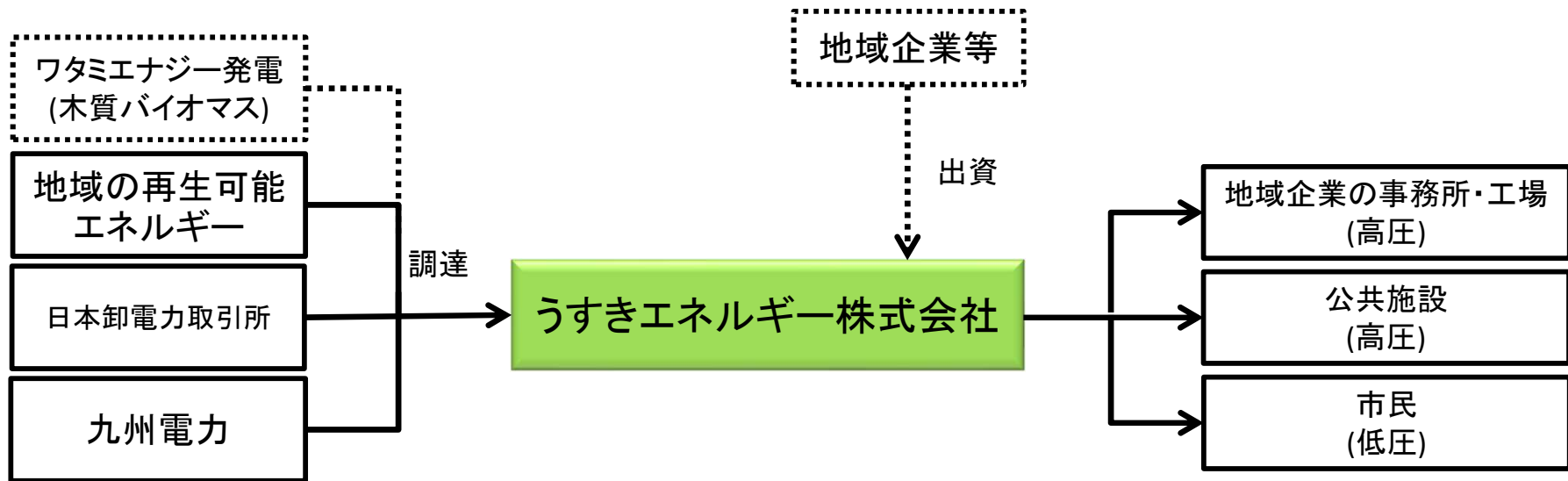


木質バイオマス発電





うすきエネルギーの電力供給図



太陽光発電



メタンガス
発電



木質バイオマス
発電

※FIT電源を特定卸供給で使用(20%程度) 卒FIT : 2件(個人宅)